

令和 8 年度

# 一般選抜（I 期）問題

試験日 2月2日

## 国 語

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

### 注 意 事 項

- ① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
- ③ 受験票、筆記用具以外は、机の上に置かないこと。
- ④ 受験票は机の上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
- ⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は1字として数えること。
- ⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
- ⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔一〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

昨今、「正しさは人それぞれ」とか「みんなちがってみんないい」といった言葉や、「現代社会ではカチカンが多様化している」「カチカンが違う人とは結局のところわかりあえない」といった言葉がル**フ**しています。<sup>(b)</sup>このような、「人や文化によってカチカンが異なり、それぞれのカチカンには優劣がつけられない」という考え方を相対主義といいます。「正しさは人それぞれ」ならまだしも、「絶対正しいことなんてない」とか、「何が正しいかなんて誰にも決められない」といったことさえ主張する人もけっこういます。

こうしたことを主張する人たちは、おそらく多様な他者や他文化をソ**ン**チョウしようと思つているのでしよう。そういう善意はよいものではありませんが、<sup>(2)</sup>はたして「正しさは人それぞれ」や「みんなちがってみんないい」という主張は、本当に多様な他者をソ**ン**チョウすることにつながるのでしょうか。ア **ア** そもそも、「正しさ」を各人が勝手に決めてよいものなのか。それに、人間は本当にそれほど違つているのかも疑問です。

たしかに、カチカンの異なる人と接触することがなかったり、異なつていても両立できるようなカチカンの場合には、「正しさは人それぞれ」と言つていても大きな問題は生じません。たとえば、訪ねることも難しい国の人たちがどのようなカチカンによつて生活していても、自分には関係がありません。またたとえば、野球が好きな人とサッカーが好きな人は、スポーツのネタでは話が合わないかもしれませんが、好きなスポーツの話さえしなければ仲良くできるでしょう。サッカーが好きなのは間違つていて、すべての人は野球が好きでなければならない、なんていうことはありません。

こうした場面では、「人それぞれ」「みんなちがってみんないい」でよいでしょう。しかし、世の中には、両立しない意見の中から、どうにかして一つに決めなければならぬ場合があります。たとえば、「日本の経済発展のためには原

「原子力発電所が必要だ」という意見と、「事故が起こった場合の被害が大きすぎるので、原子力発電所は廃止すべきだ」という意見とは、両立しません。どちらの意見にももつともな点があるかもしれませんが、日本全体の方針を決めるときには、どちらか一つを選ばなければなりません。原子力発電所を維持するのであれば、廃止した場合のメリットは捨てなければなりません。

イ

そんなときには、どうすればよいでしょうか。「カチカンが違う人とはわかりあえない」のであれば、どうすればよいのでしょうか。

そうした場合、現実の世界では権力を持つ人の考えが通ってしまいます。本来、政治とは、意見や利害が対立したときに<sup>(d)</sup>「ダキョウウ点や合意点を見つけたすためのはたらきなのですが、最近では、日本でもアメリカでもその他の国々でも、権力者が力任せに自分の考えを実行に移すことが増えていきます。批判に対してきちんと正面から答えず、単に自分の考えを何度も繰り返したり、論点をずらしてはぐらかしたり、権力を振りかざして脅したりします。

そうした態度を批判するつもりで「正しさは人それぞれ」とか「みんなちがってみんないい」などと主張したら、権力者は大喜びでしょう。なぜなら、もしもさまざま意見が「みんなちがってみんないい」のであれば、つまりさまざま意見の正しさに差がないとするなら、選択は力任せに行うしかないからです。「絶対正しいことなんてない」とか「何が正しいかなんて誰にも決められない」というのであればなおさらです。決定は正しさにもとづいてではなく、人それぞれの主観的な信念にもとづいて行うしかない。それに納得できない人とは話し合っても無駄だから権力で強制するしかない。こういうことになってしまいます。

つまり、「<sup>(3)</sup>正しさは人それぞれ」や「みんなちがってみんないい」といった主張は、多様性をソynchョウするどころか、

異なる見解を、権力者の主観によって力任せに切り捨てることを正当化することにつながってしまうのです。これでは結局、「力こそが正義」という、困った世の中になってしまいます。それは、権力など持たない大多数の人々の意見が

無視される社会です。ウ

では、どうしたらよいのでしょうか。

よくある答えは、「科学的に判断するべきだ」ということです。科学は、「客観的に正しい答え」を教えてくれると多くの人は考えています。このように、さまざまな問題について「客観的で正しい答えがある」という考え方を、普遍主義といいます。探偵マンガの主人公風に言えば、「真実は一つ!」という考え方だといってもよいかもしれません。先ほどの相対主義と反対の意味の言葉です。エ「カチカンが多様化している」と主張する人たちでも、科学については普遍主義的な考えを持っている人が多いでしょう。「科学は人それぞれ」などという言葉はほとんど聞くことがありません。

④ところが、実は科学は一枚岩ではないのです。多数の科学者が論争する中で、「より正しそうな答え」を決めていくのが科学なのです。それゆえ、「科学者であればほぼ全員が賛成している答え」ができあがるには時間がかかります。みなさんが中学や高校で習うニュートン物理学は、いまから三〇〇年以上も昔の一七世紀末に提唱されたものです。アインシュタインのソウタイセイ理論や量子力学は「現代物理学」と言われますが、提唱されたのは一〇〇年前(二〇世紀初頭)です。現在の物理学では、ソウタイセイ理論と量子力学を統一する理論が探求されていますが、それについては合意がなされていません。合意がなされていないからこそ、研究が進められているのです。

最先端の研究をしている科学者は、それぞれ自分が正しいと考える仮説を正当化するために、実験をしたり計算をしたりしています。オつまり、科学者に「客観的で正しい答え」を聞いても、何十年前にも合意が形成されて研究が終了したことについては教えてくれませんが、まさしく今現在問題になっていることについては、「自分が正しいと考える答え」しか教えてくれないのです。ある意味では、「科学は人それぞれ」なのです。

(山口裕之『みんな違ってみんないい』のか?』より)

問1 傍線部(a)～(e)の片仮名を漢字に直しなさい。

問2 次の文を挿入するのに最も適切な箇所は本文中の空欄 [ア] ～ [エ] のうちどこか、記号で答えなさい。

逆もまたしかり。「みんなちがってみんないい」というわけにはいかないのです。

問3 傍線部①「みんなちがってみんないい」は金子みすゞの詩の一節の引用である。この詩のタイトルとして最も適切なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 春と修羅      イ 山羊の歌      ウ レモン哀歌      エ 私と小鳥と鈴と      オ 自分の感受性くらい

問4 傍線部②「はたして」と同じ品詞のものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 一面の花畑      イ きれいな夜空だ      ウ あらゆる可能性      エ まるで夢だ      オ 全ての生徒

問5 傍線部③とあるが、なぜか。その理由として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 意見が違っても理解し合えないとすれば、対話が無意味になってしまったため。

イ 権力者が正しさを語らなくなること、多様性が認められなくなるから。

ウ すべての人の意見が慮られるとすれば、権力が機能しなくなるから。

エ 正しさが個人に委ねられすぎると、人は誰とも分かり合えなくなるから。

オ さまざまな意見に正しさの差がないとすれば、力で決めるしかなくなるから。

問6 傍線部④「実は科学は一枚岩ではない」とはどういうことか。最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 科学者たちの論争を通して、正しいとされていた考えが突然ひっくり返ることもあるということ。

イ 科学界にも権力関係があり、偉い科学者の主張が「正しそう」だと思われやすいということ。

ウ 科学者が皆一様に同じ考え方を持っているわけではなく、様々な立場の人がいるということ。

エ 科学界では相対主義的な考え方が重視されるが、科学者は自分の仮説の正当性を信じているということ。

オ 科学界にも相対主義が広がっており、考え方や立場に優劣をつけないようになってきているということ。

問7 傍線部⑤「探求」と構成が異なる熟語として最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 起伏      イ 霊魂      ウ 岩石      エ 学習      オ 増加

問8 傍線部⑥とあるが、なぜか。その理由を三十字以内で答えなさい。

〔二〕 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

希望は、不安な未来に立ち向かうために必要な物語です。希望があるところには、なにがしかの物語が存在します。物語の主役は、かならず **A** を経験します。挫折や失敗の一切ない物語はありません。あつたとしても、おもしろくありません。その人が挫折を乗り越えるという体験があつて、はじめて未来を語る言葉に彩りは増します。物語は、あえて無駄や脱線が加味されることで、内容に豊かな魅力を帯びてくるものです。

古典作品の多くがそうであるように、語り継がれてきた物語は、どこかつねに相反する両義的要素などが含まれ、そこに多様な解釈の余地が残されています。文学にせよ、音楽にせよ、芸能にせよ、古典となる物語はすべて、多様な解釈を示し続けるエネルギーを含んでいます。だからこそ、古典は時代を超えて共有され続けるのです。希望という物語も、しばしば画一的な解釈を許さず、ときには矛盾に見えるほどの多様性を含んでいるのです。

同時に、物語の結末は、常に未来の幸福をもたらすものではありません。物語には悲劇的な結末も少なからず待っています。希望は、未来の幸福を保証するわけではありません。実現見通しのある希望は、現在の強い幸福感につながりません。しかし希望が将来の幸福をもたらすという必然はどこにもないのです。

希望は、人々を物語の世界に引き込む魔力があります。<sup>a)</sup> 雄弁な政治指導者が、国民に希望を語りつつ、結果的に社会全体を破滅に巻き込むことも起こり得ます。かつてアドルフ・ヒトラーが、<sup>b)</sup> 窮乏にあえいでいた時期のドイツ国民に、希望を語る存在として **B** に支持された歴史もあります。希望は活力の源ではありますが、同時に使い方を誤れば、怖いものでもあるのです。

加えて物語の価値は実用性だけでなく、むしろ知的興奮や感動によって評価されるものです。その価値は「役に立つ」「わかりやすい」ことだけで、はかれるものではありません。むしろ「おもしろい」「もっと知りたい」といった想

像力をかき立てる内容が求められることは、ここでも希望と共通しています。一方、希望に比べて安心は、裏づけや保証を求めがちであるように、より実利的な観点から評価されるものです。

過去の C 経験を豊かな言葉で省みることができ、無駄を無駄と思わない考え方や柔軟性を含んだ行動力を持った、いわば物語的な個人ほど、希望をつくることができます。それらの特性を有した人々がつながり、それぞれの物語が交じりあうことで、社会全体に共通した一つの物語が醸し出されるのです。そこに個人の希望を超えた、社会の希望の物語が生じるようになります。

物語は、歴史を積み重ねることによって、深みや奥行きを増していきます。すぐれた物語は、過去につくられたものがそのまま残されることもあります。あわせて、代々語り継がれてきた民話などのように、続く時代に新たな中身が加味されたり、新たな解釈が施されたりすることもあります。社会における希望もまた新しい変化にさらされ、成長し続けるのです。

② 希望という物語は両義性を帯びているという点についても、忘れられない話があります。

一九九〇年代末、ある IT (Information Technology 情報技術) の関連会社は、一つの深刻な問題に頭を悩ませていました。以前から女性の活躍がめざましいと評判を得ていたその会社でしたが、実際のところ、優秀な女性が次々と辞めていくことに危機感を抱いていたのです。

そこで対策を講じるべく、いろいろと思索した挙句、辞めた女性に、改めてその理由を率直に聞いてみようということになりました。多くの方から話を聞いてみると、さまざまな個別の理由がありました。ですが、あるとき会社の調査担当者は、辞めた理由は、結局のところ、大きく二つに集約されることがわかったのです。

一つ目の理由は、「このまま会社で働いたとしても、先がまったくみえないから辞めた」というものでした。激動する IT 業界。それに対応すべく世界レベルでのスピーディな対応が求められる、きびしい職場環境。なんとかそれに対

応しようと必死に努力してきた。しかし、どれだけ懸命に仕事をしても、ホッとできる将来が見えてこない。そのうち疲労もピークに達し、お先真つ暗に感じて、あるとき退職を決断する。そんな女性たちの姿がありました。

では、もう一つの理由とは何だったのでしょうか。それは「このまま会社で働くことに、先がみえてしまったから辞めた」というものでした。いろいろな仕事を経験し、知識もスキル（能力）も身につけた。先も見通せるようになり、戦略的に業務に取り組めるようになった。最初はそれに満足感や充実感を得ていたのだが、あるとき将来が完全に見えてしまったと感じた。それで次第に仕事自体に魅力を失い、辞めてしまった。そんな女性もたくさんいたのです。

これら二つの理由は、実に D です。しかし共通するのは、彼女たちが他人もうらやむその会社を辞めた根本的な原因が、働く希望そのものを失ったということでした。将来がまったく見えないとき、人は希望を失います。同時に、将来が見えてしまったと感じるときにも、やはり希望は失われるのです。

転職は、賃金などより良い就業条件を他企業に求めたり、職場の人間関係に苦痛を感じて、決意することもありません。しかし、ここでみた二つの理由は、収入の低さや人間関係のトラブルのいずれともちがいます。先が「みえない」もしくは「みえてしまった」と感じてしまった。将来への豊かな想像力をその職場で持つことができなかつたために、辞めた。<sup>(e)</sup>端的にいえば、「ワクワクしない」「おもしろくない」から辞めたのです。

反対に、人はどんなに不確実な将来であっても、そこにひと筋の光明さえ見出せば、挑戦すべき対象として、希望を持つことができます。また、先行きがある程度わかってしまったとしても、依然としてまだ見えていない何かを期待できるとすれば、希望は持てるのです。

「みえていないようで見えている」「みえているようで見えていない」。想像力をかきたてる、どっちつかずの両義的な状況。それが、豊かさや人間関係と異なる、もう一つの希望の源泉なのです。

（玄田有史『希望のつくり方』による）

問1 傍線部(a)～(e)の漢字の読みを平仮名で答えなさい。

問2 [A]に当てはまる四字熟語を次のア～オから選び、記号で答えなさい。

- ア 阿鼻叫喚
- イ 一期一会
- ウ 紆余曲折
- エ 円満具足
- オ 温故知新

問3 [B] [D]に当てはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア B…圧倒的      D…多角的
- イ B…行動的      D…感傷的
- ウ B…熱狂的      D…比較的
- エ B…圧倒的      D…行動的
- オ B…熱狂的      D…対照的

問4 [C]に当てはまる言葉を本文中から探し、漢字二字で答えなさい。

問5 傍線部①「古典は時代を超えて共有され続けるのです」とあるが、それはなぜか。本文中の言葉を用いて、四十  
字以内で答えなさい。

問6 傍線部②「希望という物語は両義性を帯びている」とはどのようなことか。解答欄に合うように、本文中の具体  
的に述べている箇所を用いて、六十字以内で答えなさい。

問7 「希望」について、本文中の筆者の考えと合うものを次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 希望を持ち続けることによって、将来の幸福が約束される。
- イ 幸福な未来が保証されているという画一的な解釈によって生まれるのが希望である。
- ウ より実利的な観点から評価されるという点において、希望と安心は類似的である。
- エ どんなに不確実な未来でも、明るい見通しがあれば希望を持つことができる。
- オ 将来を見通すことができることの満足感や充実感から希望が生まれる。

